

資料

秋田県フロラ資料 (4)

高田 順

筆者は先に同名題の許に秋田県の花研究上重要と思われる種について採集記録を報告してきた¹⁾。この中で取り扱った種類の大部分は筆者の採集にかかるものであった。一方、秋田県立博物館には報告を必要とする植物種の標本が様々な形で収納されてきた。その多くは採集者の寄贈によるものであり、一部は委託製作にかかわるものである。これらを整理して目録を発行するのが館の役目であるがとりあえず、以下の45種をえらび記録を報告することとした。採集品を館におよせくださり、記録の発表を快諾された各位に対して衷心から感謝申し上げる。

凡例

従来の発表はリストを和名・学名・採集年月日・採集地・採集者・同定者の順序で記するのみであったが、今回は以上の他に過去の文献による記録などを参考として若干の解説を付することとした。和名・学名は特記以外は大井次三郎 日本植物誌 1972年版 によったが、シダ類は 田川基二 原色日本羊歯植物図鑑 1959 によることとした。文中の花文献はいずれ一括するが、今の段階では筆者の「秋田県自然史植物学文献目録 準備資料 (第四回) 1977 プリント」を参照されたい。

リスト

- 1) アスヒカズラ *Lycopodium complanatum* L.
1977. 10. 3 秋田県雄勝郡羽後町太平山 Coll. 藤原重栄
記録としては 小白森・八幡平・田代岳・駒ヶ岳 に産する。高山～亜高山性のシダとしてやや普通のものであるが、前記産地はいずれも海拔1,000mをこえ、この羽後町太平山の様にわずか473mの産地は極めて珍しい。
- 2) スギラン *Lycopodium cryptomerinum* Maxim.
1963. 6. 22 秋田県北秋田郡森吉六郎沢 Coll. 島山益穂
1930年代に村松・佐伯・佐藤(敏) などによって駒ヶ岳中腹十丈の滝と岩見三内財の神国有林の所産が記録されている。その後の採取記録はなく、ごく珍しいものであろう。
- 3) ハマドクサ *Equisetum hyemale* L. var. *schleicheri* Milde
1976. 11. 17 秋田県南秋田郡天王町蓮沼 Coll. 工藤茂美
トクサの変種として扱われ、葉鞘が長くゆるいことで区別されるが、この特徴を評価せず基本種にふくめる見解もあるようである。採集者によればかなり大きな群落を形成しているとのことである。県内未記録種である。
- 4) オオバヤシャゼンマイ *Osmunda lancea* Thunb. var. *latipinnula* Tagawa
1976. 9. 13 秋田県仙北郡田沢湖町抱返溪谷 Coll. 加藤信英・高橋和吉
形態的にも生態的にもゼンマイとヤシャゼンマイの中間を示すと言われる。ヤシャゼンマイの所産は古くから良く知られていた。日本シダの会々員の両氏による採集で、本県未記録種である。
- 5) アオホラゴケ *Crepidomonas makinoi* (C. Chr.) Copel. var. *tosae* (Christ) K. Iwats.
1976. 9. 12 秋田市仁別溪谷 Coll. 中池敏之
日本シダの会東北支部大会の指導のため来秋された国立科学博物館植物研究部の中池敏之先生の採集されたもので、地元博物館へと御寄贈いただいたものである。本県では望月(1973)による石沢峡の記録がある。
- 6) シケチシダ *Cornopteris decurrenti-alata* (Hook.) Nakai
1976. 9. 12 秋田市仁別溪谷 Coll. 金田善一
上記の採集会で福島県金田氏によって採集され、秋田県立博物館に寄贈されたものである。県内では極めて稀で記録は佐伯・佐藤(1934)による旭川村・荒川村のみであったが、最近ポツポツと発見され始めている。
- 7) イワヤシダ *Diplazopsis cavalieriana* (Christ) C. Chr.
1976. 10. 30 秋田県山本郡二ツ井町濁川 Coll. 工藤茂美
この植物の再発見の意義は大変大きい。このような暖地性の植物が40年の年月を経て再び発見されたこと、そ

して以前に発見された場所と異なるようであることなど話題はつきない。くわしい報告は松山忠(1976 生物秋田 №20)によられたい。最初の発見の記録は村松(1931)にある。

8) **フクロシダ** *Woodsia manchuriensis* Hook.

1960. 8. 3 秋田県山本郡藤駒岳東又沢 Coll. 畠山益穂

従来の記録は 長走・八森(村松1932)、岩見三内(佐伯・佐藤1934)である。筆者は1977年に露熊山峡でも採集している。

9) **ヒメサザラン** *Loxogramme grammitoides* (Bak.) C. Chr.

1976. 9. 10 秋田県仙北郡田沢湖町抱返溪谷 Coll. 中池敏之

1934年佐伯・佐藤に露熊山峡の記録がある。しかし、その後の生育が確認されず、幻の植物として扱われていた。中池先生はこの後、仁別溪谷でもこの植物を採集している。

10) **ネズ** *Juniperus rigida* Sieb. et Savat.

1977. 10. 20 秋田県男鹿半島本山 Coll. 堀井雄治郎

村松(1932)に戸賀の記録があり、望月(1973)は毛無山で採集している。戸賀や加茂を中心として半島西海岸に散生するようである。環境や地史との関連で興味深い植物である。

11) **コガマ** *Typha orientalis* Presl

1977. 9. 28 秋田県雄勝郡皆瀬村生内 Coll. 土田治兵衛 記録は鳥海山・手形のみである。

12) **キダチノズミガヤ** *Muhlenbergia ramosa* (Hack.) Makino

1977. 10. 17 秋田県雄勝郡羽後町太平山 Coll. 藤原重栄

本県未記録種である。茎の途中から著しい枝分れをする。

13) **アオテンツキ** *Fimbristylis verrucifera* (Maxim.) Makino

1977. 9. 9 秋田県男鹿市脇本 Coll. 堀井雄治郎 船越・金足の記録(1932)のみである。

14) **メアゼテンツキ** *Fimbristylis velata* R. Br.

1977. 9. 9 秋田県男鹿市脇本 Coll. 堀井雄治郎 船越・秋田市の記録のみである。

15) **アオバスゲ** *Carex insanae* Koidz. var. *papillaticulmis* (Ohwi) Ohwi

1977. 6. 17 秋田県雄勝郡羽後町太平山 Coll. 藤原重栄

ヒロバスゲの狭葉変種であり、本県未記録種である。

16) **ヒロハノコウガイゼキショウ** *Juncus diastrophanthus* Buchen

1977. 9. 23 秋田県雄勝郡皆瀬村生内 Coll. 土田治兵衛

ややもすると普通種のような扱いを受けているが、大部分はコウガイゼキショウの誤認である。村松は秋田県植物誌に羽後境の産地をあげ稀としている。他に太平山(桑山・望月1964)、協和町(進藤1968)、八幡平(望月1972)の記録がある。

17) **キンセイラン** *Calanthe nipponica* Makino

1977. 7. 11 秋田県仙北郡真昼山 Coll. 沢田久一郎

1977. 7. 13 秋田市仁別 Coll. 小貫顕

1977. 8. 2 秋田県仙北郡真木溪谷 Coll. 沖田貞敏

従来の記録は1932年村松による太平山のみで貴重な確認と言える。

18) **コアツモリソウ** *Cypripedium debile* Reichb. fil.

1963. 6. 23 秋田県北秋田郡鷹巣 Coll. 畠山益穂

古家(1937・1954)に山瀬村・上小阿仁村・粕毛市川沢の記録があるのみであった。県北のみで中央部及び県南部では確認されていない。県内では極めて稀にしか存在しないものであろう。

19) **エソズラン** *Epipactis papillosa* Franch. et Savat.

1977. 8. 15 秋田県雄勝郡羽後町太平山 Coll. 藤原重栄

20) **ギボウシラン** *Liparis auriculata* Blume

1977. 7. 13 秋田市仁別務沢 Coll. 小貫顕 本県新産の稀種。くわしくは後日発表される予定。

21) **ウチョウラン** *Orchis graminifolia* (Reichb. fil.) Tang et Wang

1976. 7. 16 秋田県山本郡藤里町太良峽 Coll. 鎌田孝一
 粕毛の記録(古家1941)があるがダム造成のため絶滅が心配されていた。この標本は採集者より美しいカラー写真とともに寄贈されたものである。最近真木袖川沢の報告(佐藤1974)がなされた。
- 22) **イヌマムカゴ** *Tulotis inumae* (Makino) Hara
 1975. 8. 10, 1977. 7. 14 秋田県平鹿郡山内村 Coll. 沢田久一郎 Det. 前川文夫
 この採集の経緯については1976年の秋田生物学会で採集者から発表された。従来平鹿地方のフロラについては全く報告がなく空白地帯であった。見栄えのしない種ではあるが県内で初めての採集である。
- 23) **クヌギ** *Quercus acutissima* Carruth.
 1977. 8. 21 秋田県北秋田郡比内町前田 Coll. 畠山益穂
 記録は船川(村松1931ほか)、男鹿山(渡部1934)のみであるが各地に点々としているのを見ている。これらがこの採集品をふくめて真の自生であるかどうかは更に研究の余地があろう。
- 24) **ザクロソウ** *Mollugo pentaphylla* Linn.
 1977. 9. 5 秋田県大曲市 Coll. 沖田貞敏
- 25) **フシグロセンノウ** *Lychmis miqueliana* Rohrb.
 1965. 8. 9 秋田県鹿角市大湯黒森山 Coll. 米田 博
 本県未記録種である。太平洋側を中心として青森県三八地方に至っている。今後他の産地が発見されるとしても奥羽山脈に近い低地帯であろう。
- 26) **ムラサキボタンズル** *Clematis takedana* Makino
 1963. 8. 20 秋田県北秋田郡鷹巣町葛黒 Coll. 畠山益穂
 ボタンズルとクサボタンの雑種ともいわれ、旧宮川村の産地は牧野富太郎の発見として村松(1931ほか)に引用されている。他に下小阿仁(佐伯・佐藤1934)、駒ヶ岳(小林1938)の報告がある。
- 27) **オオヤマオダマキ** *Aquilegia buergeriana* Sieb. et Zucc. var. *oxysepala*
 1977. 6. 1 秋田県北秋田郡鷹巣町葛黒 Coll. 畠山益穂 (Trautv. et Mey.) Kitam.
 距の先端が強く内巻することで変種として扱われる。県内の大部分はこの変種に属するものではなかろうか。最初に気付かれたのは松田(1974)で、その田代岳の記録があるのみである。大方の検討をまちたい。
- 28) **アズマレイジンソウ** *Aconitum plerocaulle* Koidz.
 1977. 9. 24 秋田県湯沢市 Coll. 土田治兵衛 仙北太平山の記録(小林1939)のみである。
- 29) **オンタケブシ** *Aconitum meta-japonicum* Nakai
 1977. 9. 24 秋田県湯沢市 Coll. 土田治兵衛 男鹿北浦(望月1966)の記録しかない。
- 30) **トガクシショウマ** *Ranzania japonica* (T. Ito) T. Ito
 1976. 5. 23 秋田県山本郡藤駒岳 Coll. 鎌田孝一
 1907年の牧野富太郎の記録以来、田沢奥の蟹場付近の産地は再三報じられているが、記録としてはそれのみである。ただ名花の故に、最近では発見の情報が相次いでいる。鎌田氏によれば藤駒岳でも2ヶ所に産するとの事である。
- 31) **キバナハタザオ** *Sisymbrium luteum* (Maxim.) O. E. Schulz.
 1976. 8. 21 秋田県山本郡八森町岩館 Coll. 工藤茂美
 本県未記録種である。石灰岩や蛇紋岩などの特徴ある岩石のない本県では極めて珍しいものである。
- 32) **ミギワガラシ** *Rorippa nikkoensis* Hara
 1976. 9. 15 秋田県雄勝郡東成瀬村大柳沼 Coll. 土田治兵衛 同地の記録が望月(1974)にある。
- 33) **カラコギカエデ** *Acer ginnale* Maxim.
 1976. 8. 8 秋田県仙北郡協和町日暮 Coll. 豊島美津秋 村松(1932)に八森の記録があるのみで、本県第2の産地である。
- 34) **クロビイタヤ** *Acer miyabei* Maxim.
 1964. 8. 10 秋田県山本郡二ツ井町七座山、 1974. 6. 20 秋田県北秋田郡鷹巣町七日市
 Coll. 畠山益穂 古家(1938)による矢立村・釈迦内の記録がある。北海道に多い樹種である。

- 35) ハイハマボッサ *Samolus parviflorus* Rafin.
 1975. 10. 10 秋田県河辺郡雄和町高尾山 Coll. 高橋祥祐
 1976. 10. 10 " 雄勝郡東成瀬村大柳沼 Coll. 土田治兵衛
 1977. 7. 28 " 北秋田郡鷹巣町湯ノ岱 Coll. 畠山益穂
- 36) ヒロハスズサイコ *Cynanchum paniculatum* (Bunge) Kitagawa var. *latifolium* (Makino) Hara
 1974. 7. 20 秋田県北秋田郡鷹巣町小森 Coll. 畠山益穂
 本種の和名・学名は北村他 原色日本植物図鑑 による。葉の巾は茎の中ほどで2.5cm~3cmである。
- 37) ハナイバナ *Bothriospermum tenellum* (Hornem.) Fisch. et Mey.
 1977. 10. 25 秋田県雄勝郡羽後町太平山 Coll. 藤原重栄
 村松(1932)には 秋田市・横沢・三重・大館・鷹巣 など多くの産地が上げられているが、その後の記録は全くない。県内の産地は極めて少ないものと想像される。
- 38) サンインヒキオコシ *Rabdosia shikokiana* (Makino) Hara var. *occidentalis* (Murata) Hara
 1976. 9. 12 秋田県北秋田郡鷹巣町七日市 Coll. 畠山益穂
 本種の和名・学名は原²⁾によった。また同定については黒崎史平氏の御教示を得た。記して感謝申し上げる。本種は花の長さが12mm程度あり美しいものである。北陸を中心として日本海側に産し隔離的に秋田県栄の水口氏による標本が京大にある。村松(1932)は水口氏採集としてアキチヨウジをあげているが産地等から見て本種ではないかと考えている。協和町(進藤1968)のアキチヨウジの記録についてはよく分らない。
- 39) タイリンヤマハッカ *Rabdosia umbrosa* (Maxim.) Hara var. *excisiflexa* (Nakai) Hara
 1974. 9. 21 秋田県雄勝郡羽後町仙道 Coll. 土田治兵衛
 1976. 9. 16 " 皆瀬村生内 Coll. "
 1977. 10. 17 " 羽後町太平山 Coll. 藤原重栄
 本種の和名・学名・同定についても前記と同様である。カメバヒキオコシの花が大型な変種でその分布範囲は黒崎³⁾にくわしい。従来カメバヒキオコシとして記録されていた東鳥海山・鳥海山(村松1932)、岩見三内・荒瀬・中村(佐伯・佐藤1934)、協和(進藤1968)のすべてが本変種に該当するかどうかは今後精査が必要であるし、花の大きさにもバラツキがあるので未解決の部分が多いと言えよう。
- 40) ミヤマクワガタ *Veponica schmidtiana* Regel var. *bandaiana* Makino
 1970. 6. 8 秋田県北秋田郡阿仁町姫ヶ岳 Coll. 畠山益穂 鳥海山(奥山1958)に次ぐ産地である。
- 41) ママコナ *Melampyrum roseum* Maxim. var. *japonicum* Fr. et Sav.
 1972. 9. 20 秋田県平鹿郡山内村 Coll. 佐川隆一 本県では初めての発見である。
- 42) スズメウリ *Melothria japonica* (Thunb.) Maxim.
 1977. 9. 23 秋田県湯沢市 Coll. 土田治兵衛
 八森・秋田市など8ヶ所の記録があり、村松(1932)は普通としているが現在は極めて少ないものであろう。
- 43) ミヤマヨメナ *Gymnaster savatieri* (Makino) Kitam.
 1977. 7. 20 秋田県北秋田郡森吉町米内沢 Coll. 沖田貞敏
- 44) ノニガナ *Ixeris polycephala* Cass.
 1963. 6. 23 秋田県北秋田郡比内町~大葛 Coll. 畠山益穂 県内で初めての発見である。
- 45) ウスギタンポポ *Taraxacum shinanense* H. Koidz.
 1977. 7. 15 秋田県横手市中央町 Coll. 佐川隆一
 東館(松田1936)などの記録がある。古家(1939)の記録は学名が合致しない。

文献

- 高田 順 1975~1977 秋田県フロラ資料(1) 秋田自然史研究 No.5 pp15~16,
同(2) No.6 pp15~16, 同(3) No.8 pp25~26
- 原 寛 1972 ヤマハツカ属のアジア産種について 植研 vol.47 No.7 pp1~11
- 黒崎史平 1974 日本産ヤマハツカ属の分布 頌栄短大紀要 vol.6 pp87~98